

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	スポーツ科学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	スポーツ社会学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期	教室名	
担 当 教 員	豊島 伊織	実務経験と その関連資格	人間・環境学(修士)			
《授業科目における学習内容》						
<p>私たちが生きる現代社会において、スポーツにはどのような意義と課題があるのだろうか。また、スポーツは社会の中でどのように発展してきたのだろうか。これらを学ぶため、本講義では社会学の視点を用いながら、スポーツを地域・福祉・政策・文化・歴史などのさまざまな側面から捉える力を養う。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
出席点(20%)、平常点(10%)、試験(70点)で評価を行う。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
公益財団法人日本スポーツ協会Reference Book、公認指導者養成テキスト						
《授業外における学習方法》						
次回講義に向けての復習・予習や、受講者自らの経験を踏まえたプレゼン発表の準備などを課す予定。また、スポーツに関して興味のあるニュースや身近な出来事などに関心を持ち、自分なりに考えてみること。						
《履修に当たっての留意点》						
日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の一つである「アスレティックトレーナー」の筆記試験に関わる内容であることを念頭に置きながら、授業に参加すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツ社会学を学ぶ意義を理解できる。	公益財団法人日本スポーツ協会Reference Book		講義の内容を復習し、次回講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	【ガイダンス】社会におけるスポーツ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツが持つ社会的意義を理解できる。	公益財団法人日本スポーツ協会Reference Book		講義の内容を復習し、次回講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	スポーツの意義と価値			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツトレーナーに期待される役割をスポーツ権・倫理の視点から理解できる。	公益財団法人日本スポーツ協会Reference Book		講義の内容を復習し、次回講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	基本的人権としてのスポーツ権とスポーツ倫理			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツが日本社会にもつ意味や、総合型地域スポーツクラブが果たす役割を理解できる。	公益財団法人日本スポーツ協会Reference Book		講義の内容を復習し、次回講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	社会のなかのスポーツ・総合型地域スポーツクラブの必要性和社会的意義			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域においてスポーツ振興方策に行政がどのように関わってきたのかを理解できる。	公益財団法人日本スポーツ協会Reference Book		講義の内容を復習し、次回講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	地域におけるスポーツ振興方策と行政の関わり			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域におけるスポーツクラブとしての「スポーツ少年団」の意義と課題を理解できる。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し、次回講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	地域スポーツクラブの機能と役割		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツにおけるガバナンスとコンプライアンスの考え方について、自治の視点から理解できる。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し、次回講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	スポーツの自治ーガバナンスとコンプライアンス		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本のスポーツ事業をプロモーションの視点から理解できる。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し、次回講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	我が国のスポーツプロモーション		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域社会における総合型地域スポーツクラブの育成と運営のあり方を理解できる。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し、次回講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	総合型地域スポーツクラブの育成と運営		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツ組織のマネジメントとマーケティングのあり方や課題を理解できる。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し、次回講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	スポーツ組織マネジメントと事業のマーケティング		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツ指導者がスポーツ事故に負う法的責任や注意義務を理解できる。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し、次回講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任①		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツ事故の具体的な事案を通して、事故予防や対処の仕方を理解できる。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し、次回講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任②		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツに関する紛争の実態と、その解決手段としてのスポーツ仲裁の手続きを理解できる。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し、次回講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	スポーツ仲裁		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツ倫理に関する具体的な事案を通して、スポーツ指導者として身につけるべき倫理を理解できる。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し、次回講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	スポーツ倫理		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツを通じた女性の社会進出の現状と、スポーツにおけるジェンダーやハラスメントをめぐる現状・課題を理解できる。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し、次回講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	時代をリードするコーチング		